

令和4年度現職者研修 共通研修6テーマ オンライン開催(島根)

***本研修は、認定作業療法士申請の必須研修です**

2022年8月5日(金)
19:00~20:30 (受付18:30~)

テーマ1:

『作業療法生涯教育概論』

講師: 認定作業療法士

元廣 惇 先生

(株式会社Canvas)

2022年8月12日(金)

19:00~20:30 (受付18:30~)

テーマ3:

『職業倫理』

講師: 認定作業療法士

山本 真理子 先生

(島根リハビリテーション学院)

2022年8月19日(金)

19:00~20:30 (受付18:30~)

テーマ6:

『作業療法の可能性』

講師: 認定作業療法士

岩本 悠 先生

(松江市立病院)

2022年8月26日(金)

19:00~20:30 (受付18:30~)

テーマ7:

『日本と世界の作業療法の動向』

講師: 認定作業療法士

森脇 繁登 先生

(島根大学医学部附属病院)

2022年9月2日(金)

19:00~20:30 (受付18:30~)

テーマ9:『事例検討』

テーマ10:『事例報告』

ファシリテーター:認定作業療法士2名

申し込み:



定員:各テーマ40名 *テーマ10のみ4名

参加費:各1000円 *テーマ9・10 島根県士会員のみ無料

参加資格:日本作業療法協会かつ各都道府県士会会員であり会費納入者であること
また初受講者に限る

生涯教育ポイント:共通研修全テーマ修了後に20ポイント付与

【問い合わせ先】 Mail:shimanekyouiku@gmail.com

一般社団法人島根県作業療法士会 生涯教育部長 岩本 悠

テーマ10「事例報告」の演題募集について

演題募集は、1症例を対象とした「事例報告」に限らせていただきます。複数の症例を含む「研究報告」は、応募できませんのでご注意ください。抄録原稿の書き方については、次のページの資料「抄録原稿の書き方」をご参照ください。生涯教育制度の改定により、協会へH20年度以降入会の方で「事例報告と事例研究（旧事例検討方法論）」を受けていない方、また、H19年度以前の入会（旧生涯教育制度）の方で「旧症例研究1」に参加していない方は、「事例報告（旧症例研究3）」を行うことはできませんのでご注意ください。

①抄録原稿締め切り：2022年8月12日（金）~~×~~切 募集人数：4名まで

・Google フォームでの参加申し込みを行った後、抄録原稿締め切りまでに問い合わせ先までご提出ください。

・メールでの送信方法

件名「9月2日現職者共通研修 事例報告」

①氏名（フリガナ）、②所属、③連絡先（メールアドレス）、④日本作業療法士協会の会員番号、⑤所属県士会名

※抄録原稿（Word文書）のファイルを添付してください。

②発表前日まで

・査読結果により、修正が必要な場合は、申し込みで登録された連絡先（メールアドレス）にご連絡する場合があります。

③発表当日

・発表形式：口述発表

→PowerPointを使用しているの発表を原則とします。スライドの作成をお願いします。スライド枚数は特に規定しませんが、発表時間に見合うように配慮してください。

→ZOOMを使用して発表を行います。画面共有操作等がご不安の方は、前日までにスライドを送って頂ければ、ホストで操作致しますので、ご安心ください。

・発表時間：発表時間は10分、質疑応答5分

（演題の数や聴講人数によって時間が変更する場合があります）

【問い合わせ先】

Mail:shimanekyouiku@gmail.com

一般社団法人島根県作業療法士会 生涯教育部長 岩本 悠

抄録原稿の書き方

(最終更新日)

2019.5.22

1. 抄録原稿サイズについて

原稿は以下のサイズに設定してください。

- ・ A4 サイズ用紙 1 枚で、上余白 25mm、下余白 30mm、左右余白 20mm に設定してください。
- ・ ページ設定の「文字方向」を横書き、2 段組みとし、「文字数と行数の指定」を 1 行 20 文字、行数 40 行に設定した後に、(標準の文字数を使う) を選択してください。

2. 本文の文字数について

本文の文字数は全角 1950 文字以内を厳守してください。書体は MS 明朝 を使用してください。

3. 原稿の体裁について

原稿には、目的・方法・結果・考察などの小見出しを付けてください。

小見出しは左寄せとし、その両端には【 】をつけて囲み、後は必ず改行してください。また、原稿はそのまま製版されますので、厳密に校正してください。

4. 図表について

図表は本文の最後のところ 12 行分 (縦 65mm×横 82mm) 相当のスペースに 1 点となります。白黒での印刷となりますので、白黒でも区別がつく鮮明なものを作成してください。

5. 演題内容に関わる倫理的事項

抄録は学会誌掲載の他、記念誌等に編成される場合があります。発表及び抄録作成については倫理的配慮について記載してください。特に対象者の同意に関する記載は必須です。所属機関に倫理審査委員会がある場合は審査を受けその旨を記載してください。

6. 利益相反(COI)の申告

発表演題に関して、企業や営利団体から金銭などの提供を受けた場合や受ける予定がある場合は、発表時に利益相反の有無を述べてください。

作成例>

高位頸髄損傷患者に対し早期作業療法を行った経験

島根太郎¹・石見銀子 (MD)・大和しじみ²

1 日本海病院

2 神話の国リハビリテーションセンター

【はじめに】

この度、高位頸髄損傷患者を受傷後早期より作業療法を行い……報告する。

【症例紹介】

20 代男性 頸髄完全損傷、損傷レベル C4。20XX 年〇月交通外傷により受傷……。

【経過】

受傷後〇日よりベッドサイドにて作業療法開始。

【考察】

【まとめ】

.....

文字は 20 文字×80 行以内
(図表使用の場合は 68 行以内)

図表のサイズ
20 文字×12 行分
縦 65mm×横 82mm